

ほっ

スピタル・かいづか

問合せ先 貝塚病院 ☎072-422-5865

(44) 子宮がん、卵巣がんの最先端治療

女性のライフスタイルの変化により子宮体がん、卵巣がん、若年者の子宮頸がんは増加傾向にあります。いずれのがんも早期発見、早期治療が大切ですが、治療する場合はその患者さん一人ひとりのニーズにあった方法を選択することも重要です。

貝塚病院では婦人科腫瘍専門医、内視鏡技術認定医が中心となって婦人科腫瘍センターを併設し、泉州地域の婦人科腫瘍拠点病院としての役割を担っています。チームメンバー全員が日々更新される世界からの情報を共有しつつ、患者さん一人ひとりの状態を全体のカンファレンスで話し合い、そのひとに合った最新の治療を提供しています。

最近は低侵襲手術という言葉が耳にされることも多いと思います。傷が小さく、回復も早いので希望

院でも子宮頸がん、子宮体がんに対しての腹腔鏡下手術の認定施設として適応があれば積極的に行っています。既に100例以上の症例を経験していますが現在のところ開腹手術と比較して治療成績に差はありません。ただし、がんは完全に治ることが最大の目標ですので、適応がないと判断した場合は最初から開腹手術で行います。

子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんともに手術、最新の化学療法、放射線治療を3本柱にがんを制圧するために私たちは日々努力し、全力で皆さんの治療にあたっています。不安なことやお困りのことがありましたら気軽にご相談ください。

産婦人科主任部長、婦人科腫瘍センター長
横井猛



10 / 16



当